

具体的な取組の柱						
事 項		益田市		島根県	気象台	国交省
具体的取組						
①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組						
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策の推進						
・高津川改修	U	R6 当初計画				整備計画に基づき実施
		R7 3月末時点				防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策として、須子地区において河床掘削・護岸整備を実施
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備						
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上	D,M,N	R6 当初計画			大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プログラムの改善を随時実施し、HP等により公開する ・府県単位での「線状降水帯による大雨の半日前からの呼びかけ」の運用開始(令和6年5月28日～)	避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上
		R7 3月末時点			大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行った。 ・府県単位での「線状降水帯による大雨の半日前からの呼びかけ」の運用開始(令和6年5月28日～) ・府県/地方気象情報の文書構造(文書の構成順、項目の名称や書式、量的予想に係る表現等を全国で統一)の変更(令和6年6月13日～)	①指定河川洪水予報(国河川)の氾濫危険情報を予測でも発表(令和4年6月13日から継続) ②水位表示板の更新・設置箇所の検討を引き続き実施、次年度以降に現地対応の予定
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	U	R6 当初計画				危機管理型水位計の更新予定
		R7 3月末時点				危機管理型水位計1か所の更新
■想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等						
・想定最大規模降雨に対応したハザードマップに基づく避難計画の見直し(避難場所及び避難経路の検討、広域避難の必要性検討、隣接市町との洪水時の連絡体制の検討)	E,F,G,J,県	R6 当初計画	ハザードマップを更新し、地域の避難計画等の修正又は作成を進める			
		R7 3月末時点	ハザードマップを更新した。			
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難指示等を発令する範囲の見直し	C,E,F,G	R6 当初計画	予定なし			
		R7 3月末時点	予定なし			
・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供	J	R6 当初計画	継続して避難確保計画策定等支援を行う	避難確保計画等の作成及び、訓練等の支援		・益田市内の定住外国人等を対象とした講習会を実施 ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成・訓練実施における情報提供の支援
		R7 3月末時点	①関係部署と連携し、避難確保計画作成後のフォローアップ及び訓練の実施依頼 ②市内小学校の避難訓練指導 ③ケアマネジャーに対する支援を実施	・大田市介護サービス事業者協議会からの依頼を受け、2024/10/16にケアマネージャーを対象に出前講座を実施 ・2025/2/16に益田市在住の外国人を対象に出前講座を実施		①益田市の定住外国人を対象に、過去の水害やマイ・タイムラインに関する講演会を実施(2/16) ②当減災対策協議会(第1回)幹事会において、要配慮者利用施設の避難確保計画作成・活用に関する情報提供を実施
・夜間、荒天における避難指示等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討	K	R6 当初計画	躊躇なく避難指示等の発令ができるよう、発令基準や災害時動員体制を再確認する			
		R7 3月末時点	発令基準や災害時動員体制を再確認			
・高津川の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	F,H	R6 当初計画	協議会の一員として開催に協力する	要請に応じて参加・支援	各種講習会・訓練等の開催に協力し、支援を行う	高津川流域の商工会議所や企業を対象とした講習会等を実施し、企業(1社)の水害BCP作成支援(株)益田クッキングフーズに水害BCP作成支援を引き続き実施予定
		R7 3月末時点	要請がなく未実施	要請がなく未実施	協力依頼・要請がなく、未実施	①南益田クッキングフーズ様を対象に水害BCP策定支援を実施(8/8) ②水害BCPの作成を希望する企業を募集するためのチラシを作成、当事務所Webサイトへ掲載予定
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所への配付やまごまごハザードマップによる災害リスクの現地表示の実施	A,E,F,G,J,県	R6 当初計画	ハザードマップを更新し、各戸配布する			益田市におけるまごまごハザードマップの設置箇所などを引き続き検討
		R7 3月末時点	ハザードマップを更新し、各戸へ配布			高津川左岸(益田市高津町内)の緊急避難場所に設置する浸水深表示の設置方法を再検討、次年度以降に現地対応予定
■多様な防災活動を含むタイムラインの作成						
・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの運用及び見直し	B,県	R6 当初計画	協議会の一員としてタイムラインの運用及び見直しに協力する	運用および実洪水等による見直しに協力する	水害対応タイムラインの確認・調整(水害対応タイムラインにおいて、依頼に基づき防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う)	多機関連携型タイムラインの運用・見直し
		R7 3月末時点	タイムラインの運用及び見直しに協力	運用および実洪水等による見直しに協力	タイムライン見直しへの助言	①高津川水害タイムラインを5回立ち上げ ②出水期前に水害タイムラインの運用方法等の確認、出水期後に水害タイムラインの改善点等に関するアンケートを行い検討会を実施
■情報伝達、避難計画等に関する事項						
・洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	県	R6 当初計画	協議会の一員としてホットラインの構築に協力する	県管理河川のタイムラインを活用して情報提供※タイムライン対象は高津川上流および津和野川の一部	—	出水期前にホットラインの構築状況、タイミングを確認
		R7 3月末時点	ホットラインの構築に協力	県管理河川における情報提供を実施	指定河川洪水予報発表等におけるホットライン実施	①11月2日の大雨の際に、益田市に高角水位観測所の水位について、ホットラインを実施 ②ホットラインでの伝達事項について、流域自治体と協議・調整を実施

具体的な取組の柱					
事 項					
具体的取組		益田市		島根県	
				気象台	
				国交省	
■防災教育や防災知識の普及					
・高津川において、堤防の越水時や決壊時における流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開	A,B,F	R6 当初計画			引き続き実施
		R7 3月末時点			河川からの越水及び堤内地の浸水がイメージできる動画を作成
・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用	H,I,M,S,緊	R6 当初計画	協議会の一員として周知等に協力する	島根県水防情報システムや、島根防災メールによる河川情報の発信	出前講座等、及び気象資料の照会を受けた際、防災気象情報等の入手先のひとつとして「川の防災情報」を紹介する また、webによる市町村支援として、「気象防災ワークショップ」の開催や、「あなたの町の予報官TV」の動画配信を継続して実施する
		R7 3月末時点	出前講座での周知等に協力	水防情報システムや防災メールにより河川情報を発信	(令和6年6月26日～7月30日) 島根県内市町村防災担当者向けに、「気象防災ワークショップ(水害対策編)」を、web会議により計5回開催し、地域防災力の向上を支援した。 島根県内市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官TV」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕刻に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説。また、早期注意情報で「中」又は「高」が発表された際は、随時に配信した。
・小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実	H	R6 当初計画	出前講座等の実施	要請に応じて参加・支援	出前講座等の実施により、防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及を行う
		R7 3月末時点	出前講座を実施	要請がなく未実施	協力依頼・要請がなく、未実施
・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	B,H,I,M,緊	R6 当初計画	協議会の一員として開催に協力する	住民に対して、広報誌などで施設機能について情報提供	出前講座等の実施により、防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及を行う
		R7 3月末時点	出前講座、避難訓練に協力	新聞広報(考える県政)による情報発信	依頼があれば随時対応
・スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信	I,M	R6 当初計画			プッシュ型の洪水情報発信を引き続き実施
		R7 3月末時点			プッシュ型の洪水情報発信は引き続き実施
・住民一人一人の避難計画・情報マップ(マイ・タイムライン)の作成促進 ※令和5年度までに全小中学校、自治会において、マイ・タイムラインの作成支援を実施	緊	R6 当初計画	協議会の一員として作成促進に協力する	要請に応じて参加・支援	高津川流域の地域からの要望も踏まえて講習会等によるマイ・タイムラインの作成支援を実施予定 マイ・タイムライン講習会の実施に向けた広報活動を事務所SNSを活用し実施
		R7 3月末時点	出前講座での周知等に協力	考える県政によりマイ・タイムラインの周知を実施(令和6年6月15日)	①益田市安富町の住民を対象にマイ・タイムライン講習会を実施(6/23) ②マイ・タイムライン講習会の実施を希望する住民を募集するためのチラシを作成、当事務所Webサイトへ掲載し周知を実施
■減災・防災に関する国の支援					
・適切な土地利用の促進	緊	R6 当初計画			霞堤背後地における土地利用規制等を促進するため、引き続き、水害リスクを情報提供
		R7 3月末時点			引き続き、情報提供を実施
・地域防災力の向上のための人材育成	緊	R6 当初計画			地域に精通し水害・土砂災害リスク等に関する豊富な知見を有する専門家による支援
		R7 3月末時点			支援要請はなく、未実施
・水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援	緊	R6 当初計画			必要に応じて実施
		R7 3月末時点			該当無しのため未実施
・代行制度による都道府県に対する技術支援	緊	R6 当初計画			必要に応じて実施
		R7 3月末時点			該当無しのため未実施
・災害時及び災害復旧に対する支援	緊	R6 当初計画			必要に応じて実施
		R7 3月末時点			該当無しのため未実施
・災害情報の地方公共団体との共有体制強化	緊	R6 当初計画			必要に応じて実施
		R7 3月末時点			ホットラインでの伝達事項について、流域自治体と協議・調整を実施
②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動					
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備					
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上(再掲)	D,M,N	R6 当初計画			洪水予報の改善
		R7 3月末時点			①指定河川洪水予報(国河川)の氾濫危険情報を予測でも発表 (令和4年6月13日から継続) ②水位表示板の更新・設置箇所の検討を引き続き実施、次年度以降に現地対応の予定
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備(再掲)	U	R6 当初計画			設置予定なし
		R7 3月末時点			危機管理型水位計1か所の更新
・樋門の無動力化の推進	U	R6 当初計画			樋門無動力化の実施予定
		R7 3月末時点			中内田排水樋門の無動力化を実施

具体的な取組の柱											
事 項				益田市		島根県		気象台		国交省	
具体的取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化											
・消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保	L,N	R6 当初計画	実際の水防活動の際は、消防本部からの指示(メール、電話等)によるものであり、消防本部により連絡体制の確認を徹底する								
		R7 3月末時点	消防本部による連絡体制の再確認を実施								
	H,M	R6 当初計画	合同点検等に参加する							合同点検等を実施	
		R7 3月末時点	合同点検に参加							益田市と合同で重要水防箇所の現地確認を実施(6/3)	
	O	R6 当初計画	防災訓練時に水防団を対象に水防工法等の演習を実施する	要請に応じて参加・支援			各種講習会に参加する。また、開催に協力し、支援を行う			国交省職員を講師とした講習会を実施	
		R7 3月末時点	要望がなく未実施	要請がなく未実施			協力依頼・要請がなく、未実施			国交省職員と防災エキスパートの共同で、梅雨時期前(4/17)に堤防点検を実施	
・備蓄水防資材情報の共有及び非常時における広域的な相互支援方法の確認	p	R6 当初計画	令和6年度益田市水防計画を策定する	出水期前に関係機関と調整会議などによる情報共有や資材の合同点検を実施					備蓄水防資材情報の共有および相互支援方法の確認		
		R7 3月末時点	R6.11 令和6年度益田市水防計画策定	水防計画による情報共有を実施					水防連絡会、洪水予報連絡会、災害情報協議会を開催		
・市庁舎の水害時における対応について、業務継続計画を策定及び機能確保のための対策の充実	Q,緊	R6 当初計画	機能確保のための対策を図る								
		R7 3月末時点	機能確保のため庁舎点検等を実施								
・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	T	R6 当初計画	樋門操作員等研修会への参加を促進する	要請に応じて参加・支援					樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施		
		R7 3月末時点	樋門操作員等研修会に参加(R6.5.15)	要請がなく未実施					益田市と樋門操作に関する委託契約を締結5/15に益田市で樋門操作説明会を実施		
③浸水を一日も早く解消するための排水対策											
■排水活動に資する基盤等の整備											
・高津川改修(再掲)	U	R6 当初計画								整備計画に基づき実施	
		R7 3月末時点								防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策として、須子地区において河床掘削・護岸整備を実施	
	R	R6 当初計画	修繕計画中(南田、飯田:令和6年度計画中)								
		R7 3月末時点	修繕実施中								
・樋門等の修繕計画を作成し、計画的に予算を確保し修繕を実施	U	R6 当初計画								樋門無動力化の実施予定	
		R7 3月末時点								中内田排水樋門の無動力化を実施	
・排水設備の耐水性の強化	緊	R6 当初計画	実施予定なし		—					実施予定なし	
		R7 3月末時点	実施予定なし		—					—	
■排水作業準備計画(案)の作成及び排水訓練の実施											
・排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	S,緊	R6 当初計画	—		—					排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施及び訓練を踏まえた見直し	
		R7 3月末時点	—		—					国交省職員と災害時の対応を行う協力業者で、排水ポンプ車の合同操作訓練を実施(益田市高津)	
新たな取組											
■報道機関との連携											
・報道機関との懇談会をwebにて開催	—	R6 当初計画				報道機関との懇談会をweb会議にて主催し、水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化する					
		R7 3月末時点					・「報道機関との懇談会」の第8回を7月、第9回を令和7年2月に実施 ・島根県CATV協議会と防災番組を3回制作した。次回3月に制作・放送を予定している				